

# News Release



会 社 名 株式会社ファーマフーズ  
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武祐  
コード番号 2929  
上場取引場所 東証マザーズ  
本社所在地 京都市西京区御陵大原 1 番地 49  
075-394-8600 FAX075-394-0099

各 位

## 「民間実用化研究促進事業」採択決定のお知らせ

ニワトリの卵から抗体を作成する技術を活用した「歯周病バイオフィルムを抑制する鶏卵抗体の開発」が、生物系特定産業技術研究支援センターの平成 20 年度「民間実用化研究促進事業」(注 1) に採択されました。

本開発は、鶏に特殊免疫を実施することにより、歯周病を抑制する鶏卵抗体(注 2)を大量生産し、食品業界の活性化、全身疾患を誘起する歯周病のセルフメディケーションによる国民の健康への貢献を目指すものです。

鶏卵抗体の技術は、当社が独自の技術として開発・応用を行っており、その用途は、ピロリ菌抗体、インフルエンザウイルス抗体、ニキビに関連するアクネ菌抗体等多岐にわたっています。当社では鶏卵抗体を大量に安価で生産できる技術を有し、ビジネス展開しております。

歯周病は口腔内の複数の病原菌がバイオフィルム(病巣)を形成することが一因となっています。本開発はこのバイオフィルム形成を初期段階で抑え、歯周病の発生を抑制するものです。

近年、歯周病は心疾患、脳血管疾患、肺炎、生活習慣病等、様々な全身疾患の原因となることが明らかになってきています。当社では鶏卵抗体技術を応用して歯周病を抑制することで、新たなセルフメディケーション産業への参入を目指すべく本開発の提案を行い、全国 51 課題の応募の中から「民間実用化研究促進事業」に採択された 3 題の一つとなりました。

日本人の約 8 割が歯周病予備軍といわれる中で、セルフメディケーションによるオーラルケアの必要が呼びかけられております。当社では早期実用化に向けて開発を進め、新産業の振興と国民の健康に貢献したいと考えております。

(注1) 生物系特定産業技術研究支援センター「民間実用化研究促進事業」とは、農林水産研究基本計画(平成17年3月農林水産省農林水産技術会議決定)等に即し、農林水産業、食品産業、醸造業等の向上に資する画期的な生物系特定産業技術の開発を促進することを目的に、財政投融资特別会計からの出資金を活用して実施されているもの。

(注2) 鶏卵抗体技術とは、ニワトリに抗原として病原菌、ウイルス等を免疫すると、抗原に対する抗体が鶏卵に産生される技術です。現在、抗体医薬が話題となっていますが、安全・安価であるなどの利点から注目をうけている技術です。

【概要】

